

金沢大学法学類・法学部  
2010年度「法理学」小テスト  
6月2日 9:15～10:00 実施/ 出題: 足立英彦  
解答・解説(30点満点)

1. つぎの命題の真理表を書け。(各2点)

(a)  $\neg A \vee B$

解答

A	B	$\neg A$	$\neg A \vee B$
T	T	F	T
T	F	F	F
F	T	T	T
F	F	T	T

(b)  $(P \rightarrow Q) \rightarrow (P \rightarrow (Q \vee R))$

解答

P	Q	R	$P \rightarrow Q$	$Q \vee R$	$P \rightarrow (Q \vee R)$	$(P \rightarrow Q) \rightarrow (P \rightarrow (Q \vee R))$
T	T	T	T	T	T	T
T	T	F	T	T	T	T
T	F	T	F	T	T	T
T	F	F	F	F	F	T
F	T	T	T	T	T	T
F	T	F	T	T	T	T
F	F	T	T	T	T	T
F	F	F	T	F	T	T

2. 次の語句をそれぞれ1～3行で説明せよ。(各2点)

(a) 命題

解答 真偽が定まっているもの。

(b) 規範文

解答 記述部分と義務様相を表現する部分から構成される文。

解説 「規範を表す文」は1点。

(c) 不自由

解答 作為または不作為が許されていない法的位置。

解説 「不作為または作為が命じられている法的位置」も可。なお、作為と不作為がともに許されていない(不作為と作為がともに命じられている)ということはありませんことに注意。

3. 命題関数を命題に変える方法を三つ列挙せよ。(3点)

解答 変項に定項を入れる。全称量化する。存在量化する。

4. つぎの命題を記号化せよ。ただし、「 $\sim$ は大学教員である」をP、「 $\sim$ は経営者感覚をもつ」をDとする。(各1点)

(a)「大学教員であれば経営者感覚を持たない。」

解答  $\forall x(Px \rightarrow \neg Dx)$  または  $\neg \exists x(Px \wedge Dx)$  または  $\forall x \neg(Px \wedge Dx)$  または  $\forall x(Dx \rightarrow \neg Px)$

(b)「経営者感覚をもつ大学教員はいない。」

解答 同上

(c)「すべての大学教員が経営者感覚をもつ、というわけではない。」

解答  $\neg \forall x(Px \rightarrow Dx)$  または  $\exists x(Px \wedge \neg Dx)$

(d)「ある大学教員は経営者感覚をもつ。」

解答  $\exists x(Px \wedge Dx)$

5. 同時に真(有効)ではありえない二つの条件つきルール例を挙げ(ただし、授業で紹介した例を除く)、そのような二つのルールが定められている場合の対処法を、例に即して具体的に説明しなさい。(5点)

解答例 ルール1「高速道路を走行中の車は、停車してはならない」と、ルール2「事故を起こした車は、停車しなければならない」があるとする。「高速道路を走行中に事故を起こした車」は、両方のルールの要件を満たしているが、ルール1の効果「停車してはならない(停車することを禁じる)」とルール2の効果「停車しなければならない(停車することを命ずる)」を同時に満たすことはできない。このような場合があるので、ルール1とルール2は同時に真ではありえないといえる。対処法としては、どちらかのルールを無効とみなすか、ルール1に「ただし、事故を起こしたときには停車しなければならない(または「停車してよい」)」という例外を定めるか、ルール2に「ただし、高速道路を走行中のときは、停車してはならない(または「停車しなくてよい」)」という例外を定めればよい。(Nさんの解答を一部修正したもの)

解説 ルール例に3点、「無効とみなす」「例外を設ける」という対処法にそれぞれ1点配点した。例外については、ルール例に即した具体的な説明が必要。

6. 「aはbに対してGを行うことが許されている」という命題が真(有効)である場合、次の問に答えよ。(各2点)

(a) bはどのような法的位置にあるか。

解答 「bはaに対して、(aが)Gを行わないよう求める権利を有さない( $\neg Rba \neg G$ )。」

解説 「aはbに対してGを行うことが許されている」( $PabG$ )は、「aはbに対してGを行わないことを命じられていない(義務づけられていない)」( $\neg Oab \neg G$ )と同じことなので、bの法的位置は、解答のように  $\neg Rba \neg G$  である。

(b)「a は b に対して G を行わない義務を有する」 という命題は「真」、「偽」、「真又は偽」のいずれであるか。

解答 偽

解説  $PabG$  すなわち  $\neg Oab\neg G$  は  $Oab\neg G$  と矛盾の関係にあるので、両者が同時に真であったり、両者が同時に偽であったりすることはない。

(c)「a は b に対して G を行う義務を有さない」 という命題は「真」、「偽」、「真又は偽」のいずれであるか。

解答 真又は偽

解説  $PabG$  すなわち  $\neg Oab\neg G$  は  $\neg OabG$  ( $Pab\neg G$ ) と小反対の関係にあり、一方が真の場合、他方は真又は偽。

7. ある物について物権を有する a の法的位置を文で書きなさい。なお、変項を x とする。(2点)

解答 「すべての x について、a は x に対して、物権を行使すること及び行使しないことが許されており、並びに、物権を行使すること及び行使しないことを妨害しないよう求める権利を有する。」

8. 講義に対するご意見、ご感想、改善提案等があれば、答案用紙に記入してください。

回答 板書に関するご意見が若干ありましたので(文字が小さくて読みにくい、誤字があるなど)引き続き注意します。

参考情報(7月2日現在)

履修登録数	受験者数	平均点
199	176	21.4

\* 30点(満点)4名、29点16名。

以上